

「若者の地域参画をめざして ～地域参画への基礎作り～」

邑南町 布施公民館

1 布施地区の概要

(1) 布施地区は、邑南町北東部にあり川本町と美郷町の境に位置している。戸数85戸、人口185名、高齢化率52%と町内の12ある公民館地区の中では一番小さな地区となっている。

(2) 山々に囲まれた自然豊かな土地で、稲作を中心に行う農事組合法人が2つある。景勝地として赤馬滝や龍岩神社、高野山などがある。

(3) 人口減少や高齢化などが町内他地域に比べ進んでおり、過疎地域となっている。そのためか地域活動が盛んで、「夢づくりプラン策定事業」や「邑南町コミュニティ再生事業」、「邑南町地区別戦略策定事業」など様々な事業に積極的に取り組み地域づくりを進めている。

2 事業の趣旨

近年、地域活動を進めている中で、「若者の意見を聞きたい」「若者に参画してほしい」などの意見が多く出るようになり、若者の力を必要としている地域の様子が見られるようになってきた。しかし、地域での若者団体の地域活動はかつてより減退しており、忙しいこともあってか若者の意識はそれほど地域活動へ向いているようには感じなかった。そこで、布施公民館では若者の地域参画を目指し、地域参画する若者を育成することとした。

まず、公民館で地域に参画する若者とはどういったものかを考え、その若者像をめざし育成を始めた。公民館で考えた若者が地域参画していくために必要な力は、

★つながりがある(地域や若者同士)

★地域に愛着を持っている

★活動していく力がある

【目的・目標を持っている、想像力(創造力)・企画力・実行力】

などとし、これらの力を身につければ地域参画をしていく基礎になると考え事業を企画していった。

3 具体的な取組内容

目標とする身につける力や取組内容から、対象を幼児～中学生と20～30代の2世代に分けて活動を進めていった。

(1) 幼児～中学生の取組

幼児～中学生においては「地域学校」という取組の中で地域への愛着や地域とのつながりづくりを目指した。「地域学校」とは邑南町の各地区で取り組まれている活動で住民の方が主体となり、体験活動を通して地域で子どもを育てていくという取組で、布施地区では「ぜにほう学校」と名付け取り組んでいる。ぜにほう学校では“地域の自然を体験することを通じて生きていく力を身につけてもらう”ということを実践目標に、今年度は季節ごとに活動を実施してきた。

○4月：山菜採りに行こう

山菜は山の中にあるというイメージだったが田んぼのまわりや道路の近くにも沢山あることがわかった。

○8月：デイキャンプをしよう

鮎のつかみ取りやキャンプファイヤーなどを企画。悪天候のため鮎のつかみ取りしかなかったが、帰省者の方にも沢山参加していただき、思い出になったと思う。

○10月：柿をとりに行こう

柿をとりつるし柿作りを行った。地域の方の様々な知恵を教わることができた。

○2月：ソリをつくろう

昔ながらの木や竹をつかったソリを作った。道具の使い方なども学んだ。

様々な活動の中で、地域の自然や人達などに関わりを持つことで、地域とのつながりや地域への愛着を持つきっかけ作りになったと思う。



昔ながらの木製のソリで遊ぶ様子

(2) 20～30代の取組

新たな若者組織「The ゼニーズ」を立ち上げ事業を実施してきた。実施する事業内容はメンバー達がやりたいことを相談して決め、担当を1, 2名決め企画・運営をしていくという形で始めた。内容は何でもよいとしたが、公民館の事業ということで学びや交流の要素を入れるようにと条件をつけた。詳細な計画を決めるとき条件などから目的を考えることで何のために事業を行うかということ意識して取り組んでもらった。以下のようなことを実施した。

○立ち上げの決起集会

○高野山登山

地元のことを学ぶ活動として実施。山頂に登山ノートを設置した。

○ピザ作り

地元の食材を知る活動として実施。レンガを使った手作りの窯でピザを焼いた。

活動の中でメンバー同士のつながりが出来ていった。担当をした者は事業への責任感を持って行い大変さもわかり、地域行事への意識も変わったと思う。

4 評価と成果

(1)地域学校「ぜにほう学校」

様々な体験活動を参加した子ども達が楽しんでいたということが一番の成果だと考える。また、住民の方が企画・運営してきたが、意欲的に取り組んでいただき住民主体の活動として確立した。また、住民の方同士で地域の自然や知恵などの知識の共有ができ、今後子ども達に伝えていく基礎作りができた。

(2)The ゼニーズ

活動を開始したばかりと言うこともありまだまだ評価する段階にないと思う。もう少しこのままのプランで活動を進めていきたい。地域の中に若者グループが出来たと言うことで、地域活動においてゼニーズにお願いしたいことがあるなどの声もあがっており、地域の方々に好意的に受けとってもらえた点は成果といえる。

5 今後の課題と見通し

(1)地域学校「ぜにほう学校」

今後は、地域のグループなどと連携し体験活動を実施する主体を広げ、地域全体で子どもを育てていこうという雰囲気を作っていきたい。

(2)The ゼニーズ

今回は地域参画する若者像をめざし育成を進めグループをつくり活動していったが、将来的には若者達の自主的な活動に発展して行ってほしいと思う。続けていくためにまず自分たちが楽しむことを考えて活動を積み重ねてもらえればと思う。そして自分たちが何をしたいか、どうしたいかを考え目的をもち、地域や時代にアジャストする部分はアジャストして活動を進めてほしい。そうした活動が地域をつくることにつながっていくと思う。また、次世代の若者達が楽しんで活動しているのを見ることで、次世代へのつながりも期待している。

(文責：職名 主事 氏名 日野 貴志郎)